

平成二十四年度 決算を認定

平成二十四年度の決算審査特別委員会が平成二十五年十月二十二日・二十三日に行われ、審査の結果病院事業が不認定すべきものとなりましたが、十二月十日の第四回定例会で賛成多数で、その他会計は全員一致で認定されました。

公営企業会計

歳入決算額 12億6,170万円
 歳出決算額 12億4,229万円
 差し引き額 1,941万円

一般会計

歳入決算額 109億4,224万円
 歳出決算額 108億4,664万円
 差し引き額 9,560万円

特別会計

歳入決算額 36億8,104万円
 歳出決算額 35億9,284万円
 差し引き額 8,820万円



決算委員会 総括質疑

後藤 勲議員

問 市街地の旧墓地の修復整備を。

答 緊急性の高いところから対応します。

問 中央調理場の女子トイレを洋式に改善すべきだ。

答 次年度以降検討する。

本多 耕平議員

問 育成牧場運営で間接経費を組み入れた収支決算はどのようになるのか。

答 利用者から大切な財産をお預かりする上

答 平成二十二年5,000万円、二十三年3,000万円、二十四年750万円の黒字で今後減価償却費を試算しても事業として成立する。

問 育成牧場衛生対策上施設内の雑草刈りを常時すべき。

答 流産被害を減らす草刈り、観光、福祉等公共牧場の多面的機能がある為これからも手をかけていきたい。

問 育成牧場施設の改修更新を計画してはどうか。

答 院長には逐次説明し、報告している。

で極力良い状態で管理できる環境を維持してきたい。

問 町有馬三頭の購入目的はなんであったのか。

答 乗用馬を使つて観光振興、馬の文化を町全体で継承していく任にあった経過である。

問 場内職員住宅管理をしっかりとすべき。

答 早急に現状を調査し、検討したい。

黒沼 俊幸議員

問 町立病院長は損害賠償請求訴訟に関わっていないか。

深見 迪議員

問 住民の活動や成果を町の実績報告書に記載すべき。

答 次年度以降検討したい。

問 児童デイサービス施設に街灯と交通注意の標識を。

答 他の施設との比較、稼働状況等調査し検討したい。

問 特養やすらぎ園に要介護一・二の入所を認めないという政府案についての見解を。

答 保険料を収めている方がサービスを受ける形が望ましい。

問 道道1060号久著呂原野塘路線の早期復旧を。

答 早く着手してもらえるところを要請したい。

館田 賢治議員

問 やすらぎ園の経営について。

答 平成二十四年度介護報酬改定があり、さらに利用人数が下回ったことにより、収入減となった。

問 農業振興会議での協議の反映について。

答 農業振興会議を生かす、具体的に施策として反映すべき取り組みをする。

問 町としての消費税の考え方。

答 税金を社会保障に充てるという事で、国の考え方に基いたシミュレーションをし、考え方をまとめる。

問 平和通り隣接する町有地について。

答 緩街地帯としているが、環境・周辺の状況変化があるのか注視している。

問 病院医療費返還金について。

答 医師数の充足度に関する医療加算部分と看護師の夜勤規定七十二時間をオーバーしたことにより、北海道厚生局監査より指摘を受け返還に至った。

問 塘路食材供給施設の休業について。

答 集客が不調で十一月日より休業。有効活用をすべく委託会社の提案も含め議論を重ねたい。

問 病院訴訟に関する事務執行について。

答 事件発生直後、看護師長から報告説明し、院長から町理事者で対応との指示があり、副町長と打合せて対応した。

問 町財政状況・経営について。

答 平成二十四年度経常収支比率が下がった主な要因は地方交付税が平成二十三年度(49億円)よりも平成二十四年度分(51億円)が多く、分母が大きくなった結果七七・七%となった。

問 町内プールの在り方を検討すべき。

答 人口減少などの要因で利用頻度が下がっている。今後、地域と協議を重ねていき検討したい。

議員提案

●議員提案第三号

標茶町議会議員定数等調査特別委員会の設置について

地方分権の推進とともに、自治体の自主的な決定と自己責任の範囲が拡大するなか、町民に選ばれた議員により構成される町議会が町民の代表機関として、議会はその持てる機能を十分に発揮し、町民の負託に応え、より積極的・効果的な議会活動を行うことが求められている。また、議員は多様化する社会において多くの町民意の反映と役割を果たすことが必要であり、現状の議員定数および議員報酬が標茶町において適切であるかどうか、議会活動の一環として標茶町議会議員定数等調査特別委員会を設置するものです。